

日ロ関係の真実

—メディアが見落とす側面とは

ジャーナリスト、元NHKモスクワ支局長

小林和男

- *ロシアで生かせる「ダメもと精神」
- *心に触れる旅でロシアを知る
- *森元総理が不用意に手渡した写真
- *大統領を失望させた日ロ首脳会談
- *強力なライバルがいない
- *焦りを垣間見せる閣議、人事
- *ロシアでは文化の力が極めて強い
- *夢を次々に実現する屈指の音楽家
- *日本人の技術と資金で新オペラ劇場
- *プーチン時代にこそ領土問題解決を



浅野 それでは開会いたします。（拍手）
なんでまた浅野が出てきたのかと思われるかもしれませんが、（笑）柴生田新理事長が今日はどうしても都合が悪いので代わりにということとして、申し訳ございません。

今日は雨の中おいでいただきましてありがとうございます。去年4月に小林さんに講演していただいたときも雨でしたが、小林さんの話ですから皆さん楽しみななさっていると思います。タイミングとしてはプーチンさんと安倍さん、森さんの会談もあつたり、北方領土についてはまた盛り上がっていますし、今日は講演のタイトルから見ても新聞などを読んだだけではわからないお話が聞けると思います。小林さんは大體、素直でない人なのですが、（笑）そう

でなくてはロシア問題の本当のところはわからないということですね。それではよろしくお願いたします。（拍手）
小林 皆さんこんにちは。小林和男でございます。

経済倶楽部から声がかかりますと緊張いたします。浅野さんから連絡があつて、「また来い」と言われたときには足が震えます。（笑）なぜかと言いますと記録が残っているからです。実にきれいな記録を残してくださいさっているから、うそが言えないのです。（笑）見通しを誤ったかどうかどうしようかと。

今回も声をかけていただいたとき、昨年4月26日にお邪魔したときの講演録を読んでみましたら、大丈夫だと。これなら大きな顔をして行